



2025年12月19日

各 位

会社名 株式会社ギミック
代表者名 代表取締役社長
兼 社長執行役員 CEO 横嶋 大輔
(コード番号: 475A、東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 CFO CL0
エグゼクティブマネジャー 坂本 俊孝
(TEL. 03-6277-5939)

東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年12月19日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）における当社の業績予想は以下のとおりであります。また、最新の決算情報等につきましては、別添のとおりであります。

【個別】

(単位:百万円、%)

決算期 項目	2026年3月期 (予想)		2026年3月期 中間会計期間 (実績)		2025年3月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率
売上高	3,830	100.0	7.8	1,877	100.0	3,552
営業利益	435	11.4	59.6	254	13.6	272
経常利益	410	10.7	50.0	254	13.5	273
当期（中間）純利益	294	7.7	52.9	180	9.6	192
1株当たり 当期（中間）純利益	70円08銭		46円19銭		49円19銭	
1株当たり 配当金	0円00銭		0円00銭		0円00銭	

(注) 1. 当社は、連結財務諸表及び中間連結財務諸表を作成しておりません。

2. 2025年3月期（実績）及び2026年3月期中間会計期間（実績）の1株当たり当期（中間）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。2026年3月期（予想）の1株当たり当期純利益は公募株式数（1,000,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大325,200株）は考慮しておりません。
3. 当社は、2025年8月8日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（中間）純利益を算出しております。

【2026年3月期 業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

当社は「健康を願う人と守る人の『不』を『希望』に」というパーカスのもと、新・医療文化創造というドリームに向かい、日本の医療の最前線であるクリニックに関わるすべての人が感じている「不安」「不信」「不便」など様々な「不」を取り除くサービスを展開しております。このパーカスを実現するために、当社では患者に最適な医師の選択を実現させるための情報を網羅的に集積した医療情報サイト「ドクターズ・ファイル」、医療情報マガジン「頼れるドクター」を中心とした、医療機関への各種サービスを提供する医療特化型のプラットフォーム事業を展開しております。

現在の医療業界においては、患者に対する情報発信の重要性を再認識するだけでなく、これまでの広告手法や院内業務の見直し、またはそれを支えるインフラ、人員体制やマネジメント等のクリニック経営基盤そのものを見直す動きが加速しております。また、少子高齢化、社会環境・価値の多様化といった環境の大きな変化の中で、2015年に厚生労働省が公表した「保健医療 2035 提言書」においては、「キュア中心からケア中心へ」というパラダイムシフトが掲げられております。今後は、未病からの健康管理という意識が重要視され「ケア中心の世界」が一層加速化されていくと想定し、当社はクリニックを中心とした医療機関に対する包括的な経営サポートをさらに推進してまいりたいと考えております。

当社の医療特化型プラットフォーム事業のプロダクトは①「ドクターズ・ファイル」「頼れるドクター」などのマッチング領域、②医療機関の業務効率化を支援する院内業務 DX 領域、③求人メディアや医療人材紹介等の HR 領域、④地域のクリニックと病院の連携を支援する医療連携領域となっており、医療機関に向けて経営課題の解決と医療機関と生活者をつなぐ総合的な医療プラットフォームの構築を通じて、日本の医療課題解決に貢献してまいります。

当事業の収益構造は、月額課金モデルに基づく「ドクターズ・ファイル」のストック収入、全国各エリアで年1回発刊される「頼れるドクター」に係るリピート収入、その他上記②③④から得られるその他収入の3つの収入区分から構成されています。

2026年3月期においては、医療機関の取引数の拡大により「ドクターズ・ファイル」のストック収入の比率上昇、また、クロスセル商材である「頼れるドクター」の継続率を維持し、取引額拡大を計画しております。

このような状況の下、2025年4月～8月までの実績を踏まえて、2025年9月に売上原価並びに販売費及び一般管理費、営業外費用についての見直しを行い、2026年3月期の通期業績の見通しを最新化しております。2026年3月期の通期業績見通しは、売上高3,830百万円（前期比7.8%増）、営業利益435百万円（同59.6%増）、経常利益410百万円（同50.0%増）、当期純利益294百万円（同52.9%増）を見込んでおります。

2. 業績予想の前提条件

（1）売上高

2026年3月期の売上高は3,830百万円（前期比7.8%）を見込んでおります。主にクリニックとの継続した取引による売上に加え、新規顧客から得られる売上や、その他各種サービス提供による複合的な売上を勘案した結果、2026年3月期中間会計期間の売上が1,877百万円（実績）、2026年3月期の第3及び第4四半期の売上合計を1,953百万円（見込）と見込んでおります。

・ストック収入

ストック収入とは、医療情報サイト「ドクターズ・ファイル」にかかる収入であり、月額利用料（定額）のリカーリング・レベニューモデルとしてクリニックから得られる収入となります。

2025年3月期のストック収入は2,506百万円（売上高比率70.6%）の実績となり、2026年3月期のストック収入は2,714百万円（売上高比率70.9%）を見込んでおります。2026年3月期末時点の「ドクターズ・ファイル」の顧客数は7,630件（前期比4.7%増）、ARPA¹は30.5千円/月（前期比2.2%増）を見込んでおります。「ドクターズ・ファイル」の解約率²は2026年3月期中間会計期末時点で0.74%と継続的に売上高が積み上がる性質を持っており、引き続き低い水準を見込んでおります。

・リピート収入

リピート収入とは、全国各エリア（年1回）で発刊をしている医療情報マガジン「頼れるドクター」にかかる収入であり、主にクリニックから広告掲載料として得られる収入となります。

2025年3月期のリピート収入は734百万円（売上高比率20.7%）の実績となり、2026年3月期のリピート収入は790百万円（売上高比率20.6%）を見込んでおります。2026年3月期は、新たに4版を創刊し、全国19都府県36版（前期比12.5%増）の発行を予定しております。毎期ご掲載いただく医療機関の継続率³は7割を超える高い安定性を有するビジネスモデルとなっております。

・その他収入

医療特化型プラットフォーマーとして、「ドクターズ・ファイル」「頼れるドクター」以外のその他各種サービスを提供していく中で得られる収益となります。

2025年3月期のその他収入310百万円（売上高比率8.7%）の実績となり、2026年3月期のその

他収入は 325 百万円（売上高比率 8.5%）を見込んでおります。医療連携ガイドブック「医療連携を大切にしている病院」や、地域医療連携イベント「メディカライアンスデー（MedicallianceDAY）」などの新規施策によるその他収入の増収も見込んでおります。

また、医療機関の「不便」などを取り除くサービス拡充を目的として、医療機関専用 情報共有アプリ「メディパシー（medipathy）」の利用促進に注力しております。

以上を踏まえ、2026 年 3 月期の売上高は 3,830 百万円（前期比 7.8% 増）を見込んでおります。

- (注1) ARPA：ストック収入売上高を「ドクターズ・ファイル」の顧客数で除して算出。
- (注2) 解約率：Net Revenue Churn Rate（ネット・レベニュー・チャーン・レート）を指標としており「ドクターズ・ファイル」の解約及び契約変更に伴い増減した当月末 MRR を前月末 MRR で除した数値（12 カ月平均）
- (注3) 繼続率：Revenue Repeat Rate（レベニュー・リピート・レート）を指標としており、前事業年度の「頼れるドクター」の顧客のうち、当事業年度にも同顧客から「頼れるドクター」の取引のあった顧客の収入ベースの割合を通期数値にて算出。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、主に制作・開発に係る労務費、外注費、クラウドサーバー利用料等で構成されます。労務費は人員計画を基に算出し、外注費については、開発保守や制作業務に係る委託費をベースに、内製化や AI 活用による効率化を考慮しています。クラウドサーバー利用料は前期実績を基に見積もっております。

これらを踏まえ、売上原価は 693 百万円（前期比 3.1% 増）、売上総利益は 3,137 百万円（前期比 8.9% 増）を見込んでおります。2026 年 3 月期中間会計期間では、売上原価 337 百万円、売上総利益 1,539 百万円を計上しました。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販管費は、人件費、業務委託費、広告宣伝費、販売促進費、採用費等で構成されております。2026 年 3 月期の販売費及び一般管理費に対する計画比率は、人件費 62.5%、業務委託費 4.5%、広告宣伝費 2.2%、販売促進費 6.0%、採用費 2.3% です。

人件費は、6 名の増員、人事制度変更に伴う手当増加、確定拠出年金制度の導入を織り込んでおります。加えて、上場関連費用 24 百万円を業務委託費に、外形標準課税制度の適用による 30 百万円を第 3 四半期以降に租税公課として計上しております。その他の経費は、前期実績に人員計画や売上計画に基づく変動要素を加えて見積もっております。

結果として、販売費及び一般管理費は 2,701 百万円（前期比 3.6% 増）、営業利益は 435 百万円（前期比 59.6% 増）を見込んでおります。2026 年 3 月期中間会計期間では、販管費 1,284 百万円、営業利益 254 百万円を計上しました。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外収益は 3 百万円、営業外費用は 29 百万円を見込んでおります。営業外費用の大半は第 3 四半期以降における上場関連費用 27 百万円です。

これにより、経常利益は 410 百万円（前期比 50.0% 増）を見込んでおります。2026 年 3 月期中間会計期間では 254 百万円を計上しました。

(5) 特別損益、当期純利益

特別利益・特別損失は見込んでおりません。

以上の結果、法人税等を控除した当期純利益は 294 百万円（前期比 52.9% 増）を見込んでおります。2026 年 3 月期中間会計期間では 180 百万円を計上しました。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載された将来見通しは、本資料作成日現在の入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な前提の変化や実績乖離が認められた場合には、速やかに見直しを検討し、公表します。

以上



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月19日

上場会社名 株式会社ギミック 上場取引所 東
 コード番号 475A URL <https://www.gimic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横嶋 大輔
 兼 社長執行役員CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO CLO (氏名) 坂本 俊孝 TEL 03(6277)5939
 エグゼクティブマネジャー
 半期報告書提出予定日 － 配当支払開始予定日 －
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,877	－	254	－	254	－	180	－
2025年3月期中間期	－	－	－	－	－	－	－	－

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	46.19	－
2025年3月期中間期	－	－

(注) 1. 2025年3月期中間期においては、中間財務諸表を作成していないため、2025年3月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2026年3月期中間期の対前年中間期増減率を記載しておりません。

(注) 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(注) 3. 当社は、2025年8月8日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期中間期	1,679		893		53.2	
2025年3月期	1,630		712		43.7	

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 893百万円 2025年3月期 712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 －	円 銭 0.00	円 銭 －	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年3月期（予想）	－	－	－	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,830	7.8	435	59.6	410	50.0	294	52.9	70.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	3,910,000株	2025年3月期	3,910,000株
2026年3月期中間期	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期中間期	3,910,000株	2025年3月期中間期	3,910,000株

(注) 1. 当社は、2025年8月8日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、及び期中平均株式数（中間期）を算定しております。

(注) 2. 当社は、2025年6月27日付の取締役会決議により、2025年7月15日付でA種優先株式2,600株を取得消却し、その対価として普通株式2,600株を発行しております。これにより、当社の発行済株式はすべて普通株式となっております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、世界的な景気変動や資源・エネルギー価格の上昇など外部環境の変化に影響を受けながらも、全体としては緩やかな回復基調をとどりました。各種経済対策の効果や雇用・所得環境の改善、堅調な個人消費が景気を下支えした一方で、国際情勢の不確実性や物価上昇の長期化により、先行きに対する警戒感が残る状況となりました。

医療業界においては、患者への情報提供やコミュニケーションの在り方が改めて問われるとともに、デジタル技術の進展を背景に、従来型の広告・集患手法からデータ活用や業務効率化を重視した経営体制への転換が進みつつあります。これに伴い、院内オペレーションの見直し、ICTインフラの整備、人材配置やマネジメントの最適化など、クリニック経営の持続可能性を意識した取り組みが加速しております。

このような事業環境のもと、当社は「健康を願う人と守る人の『不』を『希望』に」というパーカスを核に、「新・医療文化創造」の実現を目指して事業を推進してまいりました。医療現場で生じる「不安」「不信」「不便」といった課題を、情報・仕組み・人の力で解決することを使命とし、サービスを継続的に高度化させております。

医療特化型プラットフォーム事業では、医療機関とのパートナーシップを通じて、経営・運営上の多様な課題を共有し、その解決に資する新たなサービスを開発・展開しております。院内業務支援システムや人材ソリューションなど、複数の領域を横断的に組み合わせることで、クリニック経営を総合的に支援する体制を整備し、取引施設数の着実な拡大を実現しております。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高1,877百万円、営業利益254百万円、経常利益254百万円、中間純利益180百万円となりました。

なお、当社は医療特化型プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は1,301百万円となり、前事業年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が71百万円増加したことによるものであります。固定資産は377百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が21百万円、有形固定資産が3百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,679百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円増加いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は673百万円となり、前事業年度末に比べ93百万円減少いたしました。これは主に未払金が87百万円減少したことによるものであります。固定負債は112百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が37百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は786百万円となり、前事業年度末に比べ131百万円減少いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は893百万円となり、前事業年度末に比べ180百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が180百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.2%（前事業年度末は43.7%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想は、本日公表いたしました「東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご覧ください。

（4）継続企業の前提に関する重要な事象等

該当事項はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	444,849	516,798
売掛金	752,238	749,638
貯蔵品	4,157	4,765
前払費用	28,932	31,970
未収入金	3,271	2,041
その他	1,295	599
貸倒引当金	△ 3,353	△ 3,842
流動資産合計	1,231,391	1,301,971
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	59,691	55,118
工具、器具及び備品（純額）	18,624	20,656
リース資産（純額）	1,554	1,036
有形固定資産合計	79,869	76,810
無形固定資産		
ソフトウエア	131,026	108,544
ソフトウエア仮勘定	576	1,085
無形固定資産合計	131,603	109,629
投資その他の資産		
敷金及び保証金	124,516	124,516
繰延税金資産	63,072	66,777
その他	148	147
投資その他の資産合計	187,737	191,441
固定資産合計	399,210	377,882
資産合計	1,630,601	1,679,853

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,605	44,280
1年内返済予定の長期借入金	118,364	86,729
未払金	166,632	78,967
未払費用	150,815	155,199
未払法人税等	59,926	77,162
未払消費税等	53,582	53,655
契約負債	38,245	40,332
賞与引当金	118,678	121,719
リース債務	1,169	1,179
その他	12,382	14,586
流動負債合計	767,402	673,812
固定負債		
長期借入金	104,358	67,109
リース債務	592	—
資産除去債務	45,702	45,801
固定負債合計	150,652	112,910
負債合計	918,054	786,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	187,500	187,500
利益剰余金	424,923	605,507
株主資本合計	712,423	893,007
新株予約権	123	123
純資産合計	712,546	893,130
負債純資産合計	1,630,601	1,679,853

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
売上高	1,877,414
売上原価	337,995
売上総利益	1,539,418
販売費及び一般管理費	1,284,824
営業利益	254,594
営業外収益	
受取利息	545
受取保険金	420
業務受託料	1,000
違約金収入	300
その他	126
営業外収益合計	2,393
営業外費用	
支払利息	1,205
上場関連費用	1,500
その他	156
営業外費用合計	2,861
経常利益	254,125
税引前中間純利益	254,125
法人税、住民税及び事業税	77,245
法人税等調整額	△ 3,704
法人税等合計	73,540
中間純利益	180,584

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	254,125
減価償却費	37,376
上場関連費用	1,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,041
貸倒引当金の増減額(△は減少)	488
受取利息	△545
支払利息	1,205
売上債権の増減額(△は増加)	2,599
棚卸資産の増減額(△は増加)	△607
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,325
未払金の増減額(△は減少)	△86,213
未払費用の増減額(△は減少)	3,659
契約負債の増減額(△は減少)	2,087
未払消費税等の増減額(△は減少)	72
その他	2,618
小計	218,082
利息の受取額	545
利息の支払額	△1,133
法人税等の支払額	△60,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,665
無形固定資産の取得による支出	△4,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△68,884
リース債務の返済による支出	△582
上場関連費用の支出	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,466
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	71,948
現金及び現金同等物の期首残高	444,849
現金及び現金同等物の中間期末残高	516,798

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

該当事項はありません

（セグメント情報等の注記）

当社は、医療特化型プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。